

新年のごあいさつ



尾張旭市長

森 和 実

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、市政運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい出し、はや2年近くが経とうとしています。この間、私たちはさまざまな制限の中での生活を余儀なくされました。新たな変異株のまん延や第6波も懸念される中、新しい日常と向き合いながら、皆さまと一緒に乗り越え進んでいきたいと思えます。

国内に目を向ければ、社会経済活動も徐々に再開され、私たちも少しずつ日常を取り戻していく必要があると感じています。本市では、希望される市民の皆さまにスムーズに接種していただけるよう新型コロナワクチンの3回目接種に向け準備を進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。そして、市内経済の活性化を図る

ため、引き続き事業者の支援をするとともに、イベントについても感染状況に配慮しつつ開催するなど、まちのにぎわいを取り戻し、地域を盛り上げてまいります。

また、ポストコロナを見据えたまちづくりとして、三郷駅前再開発事業をはじめ、さまざまな事業に取り組むことで、市全体の魅力を向上させ、次世代につながる住みやすいまちづくりに努めてまいります。

今年の干支は寅(虎)です。「虎は千里往って千里還る」と言われ、勢いが盛んで行動力が優れていることの例えなどで使われます。年男の私もこの例えのように、千里をも往復する勢いで現地現場を駆け巡り、全力で市政運営に取り組み、引き続き「こどもは宝、健康は宝、幸せづくりは宝」に向けた施策を展開していく所存です。

結びにあたり、本年が市民の皆さまにとって幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

尾張旭市議会議員

片渕 卓三



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた初春をお迎えることとお喜び申し上げます。平素は、市議会に対して多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、世界中で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症により、去年はイベントなどの開催見送りや商業店舗の営業時間短縮などが行われ、市民の皆さまにおかれましては長期間の自粛を求められたつらくもどかしい1年であったことと思います。本市議会におきましても、傍聴人数の縮小や市民の皆さまとの意見交換会・議会報告会などを延期せざるを得ず、開かれた議会と感染拡大防止対策との両立に大変苦慮しました。

その一方で、新しい生活様式の推進や感染拡大防止対策の徹底により、皆さまの生活はコロナとの共存を見据えた新しい段階に進みつつあります。市議会においても感染拡大防止対策を徹底したうえで、開かれた議会に向けた活動の準備を着実に進め、開

催を見送っておりました意見交換会を本年1月以降に実施する運びとなりました。また、1月には初めてとなる高校生議会が、4月には動画配信による議会報告会が予定されています。

市議会といたしましては、開かれた議会を推進しつつ市の課題に対する政策を率先して提案し、市民福祉の向上を図るため、今後も、議会での議論を更に活発化させ、スピード感を持ちつつ議論を重ね深めていくことで、政策立案機能や行政への監視機能の充実、強化を図り、二元代表制の一翼をしっかりと担ってまいります。

これからも市民の皆さまの暮らしを守り、期待と信頼に応えるべく、議員一同全力を尽くしてまいりますので、どうか尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が皆さまにとって、笑顔が溢れる幸多い年になりますよう心より祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。